

2004年6月18日

各 位

三光純薬株式会社
富士レビオ株式会社
エーザイ株式会社

肝細胞がん診断補助マーカーPIVKA- 測定試薬
「ルミパルス PIVKA- エーザイ」を新発売

三光純薬株式会社（本社：東京都、社長：神保正男）は、富士レビオ株式会社（本社：東京都、社長：鈴木博正）が販売する全自動化学発光酵素免疫測定システムである「ルミパルス」で測定可能な、肝細胞がん診断補助マーカーPIVKA- 測定試薬「ルミパルス PIVKA- エーザイ」を、8月3日に新発売します。

本試薬は、三光純薬、富士レビオ、エーザイ株式会社（本社：東京都、社長：内藤晴夫）の3社による共同開発契約に基づき開発し、製造承認を取得しました。このたび、製造供給契約ならびに販売協力契約に基づき、富士レビオが製造を行い、三光純薬が販売し、エーザイは販売提携をします。

PIVKA- 測定試薬は、肝細胞がんの特異性の高い腫瘍マーカーとして広く使用されています。現在、三光純薬は、PIVKA- 測定試薬の「エイテスト PIVKA- 」、「ピコルミ PIVKA- 」を製造・販売していますが、これらに続き、今回 PIVKA- 測定試薬として「ルミパルス」用を販売することにより、PIVKA- 測定の利便性を高め、患者様のベネフィット向上により一層貢献できるものと考えています。

なお、本試薬の三光純薬の売上高は、2006年度に約7億円を予定しています。

以 上

[本件に関するお問い合わせ先]

三光純薬株式会社
総務部 仁科
Tel: 03-3865-4311

富士レビオ株式会社
I R 広報推進チーム
Tel: 03-5695-9268

エーザイ株式会社
コーポレートコミュニケーション部
Tel: 03-3817-5120

[参考資料として主な製品概要、用語解説、各社概要を添付しております]

主な製品概要

製品名	ルミパルス PIVKA- エーザイ
効能効果（使用目的）	血清中の異常プロトロンビン（PIVKA- ）の測定
用法用量	ルミパルス f 専用試薬
包装	84 テスト用
希望納入価	142,800 円
製造元	富士レビオ株式会社
販売元	三光純薬株式会社
販売提携	エーザイ株式会社

別売品

製品名	標準 PIVKA- セット
用法用量	ルミパルス f 専用試薬
包装	5 濃度 × 3
希望納入価	22,000 円
製造元	富士レビオ株式会社
販売元	三光純薬株式会社
販売提携	エーザイ株式会社

用語解説

1．全自動化学発光酵素免疫測定システム

化学発光基質を用いた酵素免疫測定法（CLEIA：chemiluminescent enzyme immunoassay）で、その測定システムを全自動化したものです。酵素を使用した化学発光法により体内の微量物質を測定します。

2．肝細胞がん

肝がんのほとんどは肝細胞がんであり、日本における悪性腫瘍死亡数の中で第 4 位の疾患です。肝細胞がんの症例の多くがウイルス性の慢性肝炎、肝硬変を経て発症することから、これらの患者様のきめ細かい経過観察により早期診断・早期治療が可能となります。

3．PIVKA-II

ビタミン K 欠乏により生じる異常な血液凝固第 Ⅱ 因子（プロトロンビン）で、1984 年に肝細胞がん患者の血中に高率に出現することが報告されて以来、肝細胞がんの腫瘍マーカーとして認知され、広く日常の診療で測定されるようになりました。

4．腫瘍マーカー

腫瘍があると体内の濃度が上昇し、腫瘍の有無の指標となるものです。

各社の概要

《三光純薬株式会社》

代表者	神保正男
本店所在地	東京都千代田区岩本町一丁目 10 番 6 号
事業内容	臨床検査薬、研究用試薬、医療用機械器具等の製造、販売、輸入
資本金	52 億 62 百万円 [平成 16 年 3 月 31 日現在] (エーザイ 50.59% 出資)

《富士レビオ株式会社》

代表者	鈴木博正
本店所在地	東京都中央区日本橋浜町 2 丁目 62 番 5 号
事業内容	臨床検査薬、検査用機器機材等の製造、販売、輸入、輸出
資本金	39 億 66 百万円 [平成 15 年 12 月 31 日現在]

《エーザイ株式会社》

代表者	内藤晴夫
本店所在地	東京都文京区小石川 4 丁目 6 番 10 号
事業内容	医薬品、医薬部外品、製薬用機器・装置等の製造、販売、輸出
資本金	449 億 85 百万円 [平成 16 年 3 月 31 日現在]

以 上